

東京 2020 オリンピック・パラリンピック 選手村ビレッジプラザへの県産木材の提供



製材用丸太の確保（令和元年）

製材用の丸太を確保するため、真室川町内にある県所有の森林からスギ丸太の伐出作業が行われました。

令和元年 9 月には、県立農林大学校林業経営学科の学生や真室川町内の「みどりの少年団」に参加いただき伐採式を行いました。



伐採式の様子

丸太の製材・加工（令和元～2年）

県内の製材工場の協力のもと、伐出された丸太を製材・乾燥し、強度・含水率測定を行い、寸法、材質、強度性能等の品質が確かな、日本農林規格（JAS）製材品として提供しました。



帯鋸による製材



プレカットによる仕口加工

選手村ビレッジプラザでの利用

ビレッジプラザは、大会期間中の選手の生活を支えるため、メディアセンターや金融機関、飲食ブースなどが入った施設です。

ビレッジプラザの構造材等の一部として約 47 m³の県産木材が使用されました。

